

令和6年度 国語科 「総合古典」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3年A～D組
教科書	古典探究 古文編（筑摩書房） 古典探究 漢文編（筑摩書房）	副教材等	「つながる・まとまる古文単語」（いづな書店）、「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」（東京書籍）、「精選漢文」「精選漢文ノート」（尚文出版）、「新訂総合国語便覧」、「新訂日本文学史必携」（第一学習社）

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	作品内の人物関係や出来事を読み取ることができる。	宮廷社会に生きる作者の思いを理解する	古文 『枕草子』 上にさぶらふ御猫は（第七段）	・随想という文章の種類を踏まえて、登場人物や話の展開を整理する。 ・敬語や文法事項を理解し、古典の語彙を豊かにする。	行動の観察 記述の確認
	5	文章の種類を踏まえて、構成や展開の違いを理解することができる。	主張を読み取り、文学独自の価値を宣言した文体の特徴を捉える	漢文 『文選』論文 曹丕	・「文」の種類と「文章」の価値とについて概要を理解する。 ・句法を理解するとともに、日本と中国との関わりについて理解を深める。	行動の観察 ワークシート分析
	6	物語の解釈を踏まえて、自分なりの考えを深めることができる。	歴史を語る物語作品と、自分の知見を結びつけて考えを広げる	古文 『大鏡』 菅公配流（時平） 道長、栄花への 第一歩（道長上） 第1回考査	・歴史物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。 ・具体的なエピソードを通して登場人物の人物像を読み取る。	記述の確認
		多面的、多角的な視点を持つことができる。	一つの行動を評価する異なる視点を、故事成語を読んで掴む	漢文 『莊子』『淮南子』 螭螂之斧	・登場人物の言葉や行動を読み取り故事成語を理解する。 ・成立の背景や他作品との関係を踏まえて解釈を深め考察する。	行動の観察 ワークシート分析
		長編物語の展開と人物の状況や思いを理解することができる。	長編物語の魅力を味わう	古文 『源氏物語』 車争ひ（葵巻） 心づくしの秋（須磨巻）	・語句や敬語の正確な理解によって、場面や状況を的確に捉える。 ・登場人物の心理や行動の描き方を深く味わう。	行動の観察
		背景や状況を踏まえ、登場人物の言動の真意を理解することができる。	史伝に記された登場人物の言動の真意を読み取る	漢文 『史記』司馬遷 「怒髪上衝冠」 〈廉頗藺相如列伝〉	・句法を理解するとともに、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・当時の武将の描き方を理解し、自分のものの見方、考え方を豊かにする。	行動の観察 ワークシート分析
	8					
	9			第2回考査		

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	自分を語る表現を探究することができる。	自己を語る「日記」が書かれた背景を理解する	古文 『和泉式部日記』 夢よりもはかなき世の中を	・作者と周囲の人物との関係に留意して、文章から作者の人物の捉え方を読み取る。 ・敬語の使われ方から人物関係を把握し、恋物語の始まりの場面を読み味わう。	行動の観察
		作品が成立した背景を踏まえて解釈を深めることができる。	親密な人間関係から表出した心情が記された文章を読む	漢文 『古文真宝・後集』 諸葛亮 「前出師表」	・「表」という文章の種類と特徴について理解を深める。 ・文章が書かれた背景を理解し、書き手の目的や意図を捉えて内容を解釈する。	行動の観察 ワークシート分析
	11	論理展開を押さえて読解し、自分の考えを広げることができる。	評論を通して我が国の古典文学の本質を探究する	古文 『源氏物語玉の小櫛』 もののあはれ論	・注釈書という文章の種類を踏まえて、成立の背景や内容の解釈を深める。 ・「こころ」を表す字の使い分けや比喩表現に注目して、論旨を正確に捉える。	行動の観察
		作者の意図を踏まえて、作品を朗読することができる。	古体詩という伝統的な韻文に込められた心情を読み取る	漢文 「秋風辞」漢・武帝 「薤露」[楽府詩集] 「石壕吏」杜甫	・古体詩という詩の種類と特徴について理解を深める。 ・詩の成立した背景や表現に即して内容を味わい作者の心情を理解する。 〈言語活動〉同じテーマの漢詩を比較し、それぞれの特徴を理解しよう。	行動の観察 行動の観察 記述の確認
	12			第3回考査		
	1	文章の構成や展開に注意し、作者の考えを理解することができる。 普遍的な価値についての考えを深めることができる。	文学を論じる評論を読み、人間、社会、自然に対する思考を広げる 諸子の思想を読み、自己の考えを深める	古文 『俊頼髄脳』 連歌 漢文 柔之勝剛〈老子〉 守業〈韓非子〉	・歌学書という文章の種類を踏まえて、連歌についての作者の考えや根拠を読み取る。 ・反復・対偶、逆説的な表現を駆使して真理に肉薄する言説の力強さを味わう。 ・非情とも思える主張の正当性を、誇示を例に用いて証明する言説の鋭さを理解する。	行動の観察 ワークシート分析

3 評価の観点

知識・技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 (2)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
思考・判断・表現	【読むこと】読むことに関する次の事項を身に付けている。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。
主体的に学習に取り組む態度	(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価の方法

評価規準に従い、定期考査の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

1、2年次に学んだ古文・漢文の知識を元に、より深く作品の読解が進められるように学習に臨んでください。予習としては、必ず本文を音読し、語句の意味調べや文法事項を確認しておきましょう。長く存在感を放ち続ける名作「古典」を読んで人間の普遍的なものを感じ取り、深い教養の一端を身につけましょう。